

# 日興株 米シティ株と交換

## 三角合併 初の承認

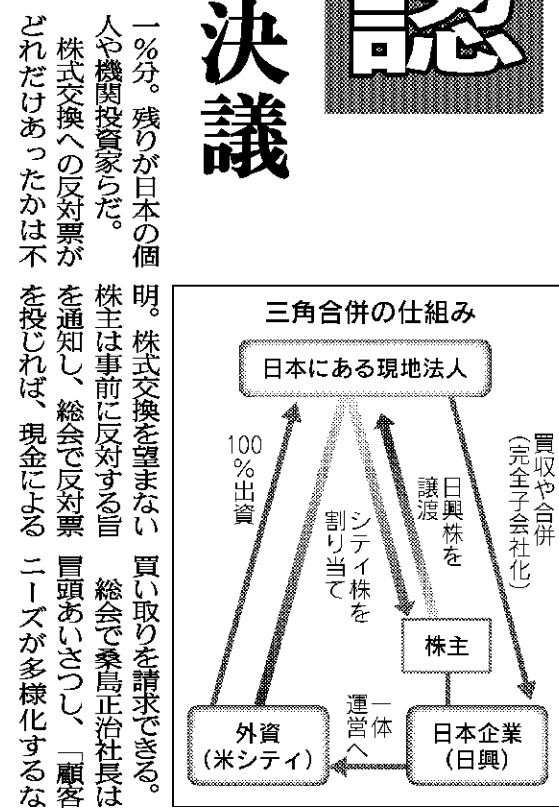
### 日興総会 完全子会社化を決議

#### 株式交換の流れ

- 〈12月〉 .....  
19日。シティ株との交換を承認  
　　日興が臨時総会  
21日。株式交換の受け付け開始  
〈1月〉 .....  
17日。15~17日のシティ株価を  
　　基に交換株数を決定  
23日。日興株上場廃止  
29日。株式交換の効力発生  
30日。シティ株を割り当て

日興コーディアルグループは十九日、臨時株主総会を開き、米シティグループの完全子会社になることを決めた。五月に外國企業などに解禁となつた「三角合併方式」を初めて使い、日興株主にシティ株を割り当てる株式交換の承認を得た。ざつと三万人いる株主は来年一月末にシティ株を受け取る見通し。米国の信用力の低い個人向け住宅融資（サブプライムローン）問題の逆風が吹くなが、シティは日本の投資家を意識し、完全子会社化をテコに日本での戦略を強化する考えだ。

日興株主総会は午前十時、都内で株主百六十三人があ出席して始まった。時、都内で株主百六十三への移行も決議した。今回の総会で議決権が一部株主から株式交換の条件を一株当たり千七百円から二千円に引き上げるよう修正動議が出たが、正午にシティ株との株式交換を三分の二以上が、正午にシティ株との交換を承認した。三月の賛成で承認した。三月



▼三角合併 親会社が子会社を通じて別の会社

を合併・買収する手法で、国境をまたいだ再編では使い勝手がよい。外企が日本企業を買収する際には日本に子会社を設け、その子会社が日本企業を吸収合併・買収する。日本企業の株主には、買収会社の親会社である外国企業の株式を割り当てる。

シティは来年一月十五日

株主からはシティとの連携効果などを問う質問が出た。シティ日本法人のダグラス・ピーターソン

を決める。シティの十八最高経営責任者は「来年以降に具体策を出す。世界戦略のなかで日本は最優先分野」と強調した。

シティは承認を受け来

年一月二十九日に、残る

三二%分の日興株を株主

から譲り受け、自社株を

交付する。日興株一株当

たり千七百円に相当する

シティ株を売買できる。

日興を巡っては昨年十

二月に子会社を舞台にし

た不正な会計処理が発

覚。旧経営陣の引責辞任

など経営が揺らいだ。

のため日本事業拡大を狙

うシティの出資を受け入

れた。もっとも日興買収

を主導したチャールズ・

プリンス前会長はサブプ

ライム問題に絡む巨額損

失計上で辞任。シティの

経営 자체も混乱気味だ。

シティは来年一月十五日から十七日の間のシティ株の加重平均で割当株数を決める。シティの十八日の終値約三〇ドルを基にすると、日興株一株あたり約〇・五株のシティ株と交換できる計算だ。東京証券取引所は一月二十三日に日興株を上場した。もともと日興買収を主導したチャールズ・シティは承認を受け来年一月二十九日に、残る三二%分の日興株を株主から譲り受け、自社株を交付する。日興株一株当たり千七百円に相当するシティ株を売買できる。日興を巡っては昨年十二月に子会社を通じて別の会社を合併・買収する手法で、国境をまたいだ再編では使い勝手がよい。外企が日本企業を買収する際には日本に子会社を設け、その子会社が日本企業を吸収合併・買収する。日本企業の株主には、買収会社の親会社である外国企業の株式を割り当てる。